



OSAKA SEMBA ROTARY CLUB JAPAN

Ⅲ. 好意と友情を深めるか Ⅳ. みんなの為になるかどうか

熊本県の地震被害に対して第2660地区災害支援委員会の要請により、義援金を取りまとめて被災地の2720地区にお送りして、支援活動に役立てますので皆様方のご理解とご協力をお願い致します。

そろそろソウル国際大会も近づいて参りました、今年度、当地区のポリオ・プラスへのDDF寄付が世界地区で第2番目の多額寄贈であったため、ソウル国際大会の閉会本会議(祝賀会)で立野ガバナーが登壇され、表彰されることになりました。当地区としては、誠に喜ばしいことです。

宮原会員のご尽力により、出席者のチケットが無事取れてほっとしているところであります。宮原会員ありがとうございました。4月29日(金)~5月1日(日)までの間「春の初級RYLAセミナー」が大阪西北ロータリークラブのホストクラブとして開催されます。当クラブとして、交換留学生のジャシュア君が参加致しますので宜しくお願い致します。

先週、彼の会社訪問は沖会員のところでした、沖会員お世話になり、ありがとうございました。

本日は片岡会員の会社訪問です。片岡会員宜しくお願い致します。

明治の初期に札幌農学校で教鞭をとったクラーク博士は、その1年足らずの短い期間に学生達に大きな影響を残して立派な人作りを行いました。日本を去る時教え子達に残した言葉は、余りにも有名な“Boys be ambitious!!”ですが、その後に“Like this old man!”と言う言葉が付いていたと云う説があります。自分は大志を抱き、夢を持って日本にやってきた、少年諸君は自分の富や名誉の夢ばかりをむさばらずに、この老人の様に世の為、人の為に尽くそうと言う大志を抱き、どうか私に習う者になって欲しいと云うメッセージであります。

人は何かを「決断」する時に、往々にして理屈ではなく人の感情によって左右されるものだと言うことを、我々は日常よく経験します。それは、「あの人が言う事だから信じて付いて行こう」とか「あの人の言っている事は正しいが、どうも協力する気になれない」と云ったような感情であります。感性豊かに誰からでも学ぶ心を持ってと言われても、人が成長する為には、最初は模倣が必要であります。学習するには、見習うべき範例が不可欠であります。リーダーは率先して新入会員に見習われても恥ずかしくない様な‘Rotarian’であるべきです。“Lead the way!”『率先しよう!』2006年RI会長 William Boydさんの標語であります。リーダーシップを発揮しようと思えば先ず自分が率先しなければならない。自分が率先して模範を示す事をせずにいくら心のこもった声をかけても、禿げ頭の人が口上巧みに毛生え葉を売っている様に説得力はありません。まず、自分を謙虚に輝かすことであります。ローソクに点火してそれを机の下に置く人はいません。高く掲げて部屋の中を照らしてこそ、ローソクに点火した意味があります。

ローソクの火のように、謙虚に輝いている人を見ると自分ももう1本その傍らにローソクを立てたいと思うものです。人をそのような気持ちにさせるように謙虚に輝くのです。ローソクの火は変幻自在に揺らいでいます。しかし、中心軸はぶれることなく、しっかり保ち燃え続けています。これぞ、リーダーシップの奥義であります。自分が謙虚に輝く事は人を育てます。

とは云うものの、私自身、未だ謙虚に輝く事ができず、皆様に助けられています。又、未熟ながら、会長という大役を務めさせて頂いていて、クラブを運営できていますことを、皆様に感謝申し上げます。

山本五十六海軍大将の語録「やってみせ、言って聞かせて、させてみて、褒めてやらねば人は動かじ」「話し合い、耳を傾け承認し、任せてやらねば人は育たず」「やっている姿を感謝で見守って信頼せねば人は実らず」であります。

これからも宜しくお願い致します。

3. 幹事報告 岡本 茂 幹事

①「フレッシュロータリアンフォーラム(FRF)の参加登録の案内が、地区から来ております。これは、入会歴の浅い会員、クラブの将来を担う会員に対してロータリアン精神とロータリーの基礎知識を学ぶセミナーです。先輩会員の参加も歓迎ですので、多くの登録をお待ちします。日時は、6月17日(金)の6時より。場所は、ホテルニューオータニ大阪です。

詳細は、次回例会のメールボックスのご案内をご覧ください。

②今、会長からお話のありましたように、地区からの「熊本・大分の地震被害に対する義捐金募集のお願い」につきましては、3,000円/人を個人預金より支出し、会員数39人分を今週、地区に送金いたします。ご承知下さい。

③5月と6月につきましては、当クラブが例会場になっております、ホテル日航大阪の客室改装工事に伴い、騒音の関係で、この32階が他のフロアーに移動します。本日の週報の「5月例会予定」に記載しておりますが、各週の例会場にご注意ください。

④本日の週報「5月例会予定のうち、9日(月)の理事会は、11時20分からになります。また、例会を挟んで次年度クラブ協議会が、13時40分から開催されます。会場は、どちらも④F「蘭の間」です。記載誤りがありました。訂正してお詫び致します。

4. ご挨拶 来日学生 ジャシュア シェクタ 君



皆様こんにちは。

先週は、沖さんの会社訪問に行きました。本当に勉強になりました。会社とは何かについて特に勉強になりました。アメリカと日本の考え方が違うので、両方がわかるようになったら絶対プラスになると思います。将来社会人になると、ロータリアンの言っていたことを覚えていて、日本人の頑張る心を使えると思います。沖さんと一緒に職場を歩いていっぱい喋りました。オフィスに入ると、会社の意味についてお聞きしました。会社の目的というのは、ただお金を集めることだけではなくて、社員の健康や幸せになるために存在しているという考え方を学びました。そういうことは、アメリカではあまりないと思うので非常に面白かったです。沖さん、ありがとうございました。

5. ニコニコ報告 松永 修 親睦委員

甚田 会員……本日卓話当番です。1200兆円の日本政府の借金についてです。宜しく。

林 会員……本日卓話です。また中国ネタで恐縮ですが、宜しくお願い致します。

斧原 会員……昨日迄沖縄の離党、石垣島・宮古島へYKKグループと行って来ました。

塩尻 会員……欠席、早退等が続き、大変申し訳ございません。

松永、清水、新川、大磯、北野、藤野、今泉、栗原、渡辺、侯野、宮原、平山、小山、片岡、杉浦、井澤、澤田、小島、中村、岡本(真)、大嶋、松谷、斎藤、伊藤、

各会員……今週末からゴールデンウィークです。良い時期を有意義にお過ごし下さい。

6. 出席報告 岩崎 寿英 副SAA

会員総数 39名 出席率計算会員数 39名 出席会員数 32名 出席率 82%

第1235回(4月4日) 修正出席率 100%

7. 職業奉仕卓話

◎「日本の借金1229兆円」 甚田 隆康 会員



現在の関心事

日本政府が抱える債務は1229兆円 何故生じたか？

1990(平成2) 日本バブル崩壊経済の不況対策として景気をよくするため財政支出を行ったが、効果なく経済は長期低迷し、税収が不足したため債務のみが残ったとされる。

2008/9 リーマンショック リーマンショック後の経済は欧米諸国が貨幣を増発する経済政策で対応したが、白川日銀総裁の日本は「金融秩序が安定しているという認識「日銀流できない理論」で欧米諸国と同一歩調を執らず、独自の政策を行った(と説明されています)。その結果、円ドルの為替レートは、実体経済からかけ離れた円高になり国内企業(日本)は国外へ出て行った(空洞化)。

その結果、日本経済は①のバブル崩壊後の長期低迷とともに、デフレ経済から出られなく、今に至っている。

デフレ経済は、「物価の下落と需要の縮小が同時に進行する状態」であり「最大の問題はインフレと違い経済の成長循環を止めてしまう」と説明されます。これは、毎年1%縮小すれば20年経てば経済が20%縮小するわけで、国民生活は絶対良くなりません。即ち、デフレは経済が小さくなり、健全な経済(成長)は適正なインフレが必要です。

この返済はどうするか？ 返済「出来る」のか「出来ない」のか？ 返済出来れば特に問題ないが返済出来ない時、どうなるか？ が知りたい課題です。

I 問題認識(短期)

返済は、「歳入増(増税)」と「支出減(社会保障削減)」が実行できれば可能ですが、実際は大衆迎合(ポピュリズム)の政治・選挙が行われ実現できません。正義感が強い、正しい認識を有する政治家と官僚のリーダーシップとTV・新聞・マスコミ等の責任ある報道が必要と考えます。大衆迎合の社会が続けば返済出来ないことになりませんが、返済できない時、究極的には「デフォルト(債務不履行)⇒経済破綻」が危惧されます。

③ 併し、日本国債は国内で消化されており、日本銀行がカネを刷って(貨幣発行権)返済出来るから「債務不履行はあり得ない」という見解があります(学者間に対立があります)。

II 問題認識(長期)

返済できるようにするのが正しい認識(増税・給付減)だと思いますが、ポピュリズムが強く実現は不可能でしょう。

そして喫緊に必要なのは「デフレ」からの脱出です。黒田東彦日銀総裁は 2013/4(平成 25)量的・質的金融緩和(異次元緩和)を導入し、2%の物価安定目標が達成するまで継続すると決めました。その後、すぐ円安になり緩和政策の効果が表れましたが、財務省の財政均衡主義の予算は実体経済の回復に寄与せず、物価上昇率 2%(デフレ)達成寸前で足踏みしています。その上、外部の不安要因「中国経済成長どん化・原油安リスク・欧州移民問題等」が加わり経済見通しは不透明になっています。

④「経済」は「実体経済(経済政策)」と「金融経済(金融政策)」の相互作用で活動しています。「実体経済」は商品(モノ・経済価値)が自由市場で需要者と供給者が「取引」することにより成立し、「金融経済」は取引が円滑に行われるため取引の「決済手段」として利用されます。

A デフレ経済 ⇒ 商品(モノ) > 貨幣 = 供給 > 需要・・・から需要に見合う水準まで商品価格が下がる(デフレ)。又は、需要に見合う水準まで生産(供給)が低下します。

B インフレの経済 ⇒ 商品(モノ) < 貨幣 = 供給 < 需要・・・から需要に見合う水準まで商品価格が上がる(インフレ)。又は、需要に見合う水準まで生産(供給)が増加します。

上記の理屈は誰でも分かるでしょう。つまり、25年間日本経済は需要不足でしたから、需要を増やす必要がありますが、バブル崩壊後デフレの染まった市場経済では需要は増えません。増やすには財政出動の支出(需要)増が最良の方策ですが、歳入不足で 1229 兆円の債務を負担する財政では追加予算を捻出する余地はありません。学者・評論家によって意見は大きく分かれていますが、政府(日銀)がカネを印刷し、公共事業に使って、需要を増やせば、デフレから脱出する、という意見があります。貨幣発行益(シニョリッジ)の活用です。(末尾にノーベル賞受賞者ポール・クルーグマン教授と安倍首相の会談の一部を記載しています。)反対意見は、ハイパーインフレーションになって收拾がつかなくなる、というのですが、この見解は、供給不足の時に貨幣を発行したら生じる懸念(例えば昭和 20 年の軍票)であり、戦争後の激しいインフレの帰結が念頭にあるのでしょう。他方、肯定サイドからは需給のバランスを見ながら行う貨幣供給は有効でありハイパーインフレは心配ない、と説明されます。

それに、1229 兆円の債務は、経済回復前に歳入・支出の収支バランスを回復させ返済するのは不可能だ、とみる意見もあります。巨額な債務を抱えた財政の再建は、収支バランスを回復して行うのは不可能であり、経済をインフレ(資産保有者は評価損が生じる)にして行うしか方法がない無いと見る意見ですが、これは正しい見方だろうと考えます。

ところで、異次元緩和で日銀が購入した国債は(市場に流したカネ)315 兆円です。

1229 兆円の内 315 兆円(25.6%要確認)は日本銀行が保有しますが、これは、政府が新

しく紙幣を発行した場合と変わらないはずです。もし最悪、デフォルトがあった場合、

損するのは「日本銀行＝日本政府」です。1945(昭和 20)のようなハイパーインフレは論外ですが、市場の需給を見ながら行う貨幣発行による資金で、日本経済発展の「新技術・新産業・新事業醸成」と「構造改革」の政策を実行しなければならない、と考えます。そして、これら政策の「方向・方法」が課題です。このような状況を認識し、20 歳～40 歳代の若者がグローバル経済・情報社会にマッチした手段で日本経済再興に活躍していくことを大きく期待します。(4/19 開催された政府の産業協力会議で成長戦略の概要が纏められました。期待できる戦略が並んでいます。必ず実行してほしいと思います。)

Ⅲ 量的緩和政策の顛末は？

異次元緩和で膨らんだ貨幣が経済へどのような影響を与えるか(出口)? が問題とされます。

ある識者は「3 つのシナリオ」が考えられる、説明されます。

1 延々と片肺飛行を続ける。

貨幣発行を続けますから行き着くところは資産インフレ(ハイパーインフレ?)です。2 片肺飛行が続けられなくなる。

日本経済が更なる長期停滞と財政赤字が膨らむ。3 新しい成長軌道の期待。

政府が心機一転新たな成長戦略を打ち出し、日本経済が新しい成長軌道に乗る。当然「3」になって欲しいものです。

クルーグマン教授の説明

基本認識:金融政策だけでインフレをもたらすことは出来ません。安倍総理に対し「金融政策だけではなく、いま日本政府が決断すべきは強力な財政政策だ。日本は未だアベノミクス第2の矢を放っていない」安倍総理の質問:日本は大きな債務を抱えている。財政赤字はどうしたらいいのか? 「日本は短期的には財政危機になりようがない。ここ数年の財政赤字のことを心配するよりも、デフレから脱却するという目的のほうがはるかに重要だ」

◎「中国の近況」 林 拓 会員



中国にも深刻なリストラの波が押し寄せてきております。中国人力資源社会保障部(日本の厚労省)の調べによると昨年1月から9月までの9ヶ月間で、給料未払いによる労働争議は全部で1万1007件発生しており、これは前年同期比34%もの急増である。そのうちの90%は賃金未払いが原因とのことです。

中国ではいわゆるゾンビ企業と呼ばれる赤字企業が続出し、上場企業でも10社に1社、合計220社以上もあります。

中国では失業率が10年以上も2~3%台で推移していましたが、今年1月の失業率は4.99%とほぼ5%に近い水準になってきております。

もともと中国人は人に雇われるのが嫌いな国民性です。すぐに思いつきで独立をしてすぐに倒産するというような事例は沢山あります。現在中国本土における企業の平均寿命は2.7年といわれ日本の24年と比べると実に9分の1に満たない年数で倒産するということになります。創業150年を超える企業は中国全土においてたった5社しかないそうです。ちなみに日本は200年以上の企業が3146社あるそうです。

中国全土では先ほどもお話させていただいたような経済状況であるにもかかわらず廈門のマンションはまだ値段が上がり続けています。中国で今でもマンション価格が上がっているのは上海、北京、深センそして廈門とほぼ4都市といわれています。ここで廈門の住宅事情をお話したいと思います。今後5年以内には島の外に国際空港を建設し、さらに海底トンネル1つと橋を1つ建設する予定です。マンション価格も島の内外では2倍~3倍ほど価格が違います。現在島の外で約16,000元~20,000元で島内では40,000元~55,000元まで値上がり。160㎡、約48.5坪の内装工事のないコンクリートの箱だけマンションで1億4,400万円ということになります。

2015年の中国新車販売は前年比4.7%増の2460万台で7年連続世界トップを保持した形になります。注目すべきは中国国内ブランドの自動車が販売を好調に伸ばしており前年比15%増の873万台を売り上げ販売シェア41%獲得していることです。もともとフォルクスワーゲンのシェアは大きかったのですが、日本車336万台に対してドイツ400万台とかなり水をあけられた感が否めません。今やBMWは日本での中級国産車扱いになっています。

ちなみにアメリカ車は260万台(フォード、クライスラー、GM)、韓国車(現代、KIA)は167万台、フランス車は72万台(シトロエン、プジョー)と中国の路上はかなりカラフルで日本のように国民の大半が同じ車種を好むような傾向は少なくまさに10人十色でいろんな国のいろんな車が混在している状態です。

こういった海外勢も中国国内の合弁会社で製造したものについてはかなり課税が優遇されており、日本国内で売られている価格の120%前後で販売されています。ちなみに完全な輸入車の場合、車両本体価格にもよりますが、100%近い関税が今でも課せられています。

最後に中国人のインバウンド消費について少しお話ししたいと思います。最近、少し人民元が元安傾向にありますが、依然として中国人の爆買いは治りを見せません。チャイナマネーの猛威は最近パナマ文書で租税回避地として非難を浴びているイギリス領バージニア諸島において中国共産党幹部の口座にざっと日本円で400兆円もの預金があるそうです。話がインバウンドから離れますが、中国には不動産を購入する際に1%の不動産取得税がかかりますが、それ以外の固定資産税や贈与税、相続税といった富裕層にとって不利な税制は存在しません。よって資産の名義書き換えがかなり自由に行えるようです。そのため信用できる親戚や他人名義に資産を登記しておき後から現金化して自分で受け取るなど、好き勝手にやりたい放題です。全人代でも固定資産税や贈与税を導入することは立案されますが、採択されることはないようです。こうして色々な形で儲けたお金を海外でどんどん使っているのがインバウンドです。しかも昨年一時期、人民元1元が日本円で20円になった時期がありました。4年前、2012年1月の平均レートが12.18円ですのでたった4年で40%の上昇になります。逆に言い換えますと、すべては4割引で買えることになります。その上、高級品贅沢品に対する輸入関税は非常に高いため、普通でも一般関税と増値税で33%かかるところ物品によって50~100%の関税がかかることになります。高級腕時計を1つ買うとして、中国国内で買うのと日本で買う場合、まず本物が確実に購入できる上、日本に来る旅費まで出してもお釣りがくる状態です。しかしいつまでも継続的なインバウンドが期待できるのかは楽観視できる状態ではないと思います。以上で中国近況を終わりたいと思います。



☆次回5月16日(月)例会予定

・創立28周年記念例会懇親会

32階「スカイテラス」17:30~20:30